

## 東工コーセン(株)林業資材Q&amp;A

No	項目	Q	A	資料	補足
1	単木	食害防止チューブで本当に成林するのか？	正しく施工されれば成林します。	有	各地の成功写真があります。
2	単木	下刈りは不要なのか？	不要でなく軽減できる。1年一回5年間から5年間で1～2回に減らせる	有	シカが下草を採食する地域もある
3	単木	樹形異常はしないか？	およそ6～8%の確率でネットが主要因で枯死あるいは樹形異常する	有	
4	単木	撤去はいつやる？	(下刈りや間伐時に)支柱のみ撤去してください。ネットは剥皮防止資材として役立つため撤去は不要		
5	単木	何故設置高1.7m以上なのか？	ディアラインは1.5m～2mと言われており、2mあれば獣害は防護できるが地際から2mも側枝がないと自立しない為植栽木が自立できる限界が1.7～1.8mだから		
6	単木	では1.4mを商品ラインナップしている訳は？	行政の標準単価表に1.4m以上と明記されているから。1.4mの根拠は不明。行政担当者に聞いてください		
7	単木	地際を絞って杭を打つと苗木が傷まないか？	竹杭で打ち込むが5年程度で腐敗するため苗木を傷めることはない		生長過程で苗木の地際部が広がっていきます。プラ杭は腐敗しないので阻害します。
8	単木	黒線が入っている訳は？	誰もが同じ位置に正しく竹杭を打つことができる	有	
9	単木	5年の耐久性&耐候性が必要な訳は？	下刈り期間は植栽年から5年間が多く、植栽木がネットを越える時期でもある	有	4年耐候性データがあります。
10	単木	なぜ裏返しをする	上部開口部やチューブ内に空間を作るため	有	これが一番大事！空間がない資材は樹形異常や枯死を多発させる
11	単木	単木保護資材にはチューブタイプとカバータイプがあるがその違いは？	効果は変わらない。施工性、価格、でカバータイプが有利		硬質タイプ、軟質タイプともいう
12	単木	なぜ上部開口部が常にひらかなければならないのか？	チューブ内の苗木の生長を阻害しないため	有	
13	単木	幼齢木ネットは生分解するが支柱は分解しない。なぜ分解性の支柱にしないのか？	耐久性及び耐候性の高い(5年以上)ものが開発されていないため。竹支柱は防腐加工をしても3年。木柱は直径5cmあれば持つが重量があり現場への運搬が困難		FRP製の支柱ですら強風、積雪で折損する場合がある。環境配慮と称して生分解性を求めがちであるが食害防止チューブの役割は第一に防獣である。
14	単木	何故杭は竹製でプラ杭にしないのか？	植栽木の生長過程で地際に打ったプラ杭が成長阻害する恐れがあるため		生長過程で地際部が広がっていきます。プラ杭は腐敗しないので阻害します。
15	単木	なぜ支柱は谷側に立てるのか？	山側に支柱を立てる場合谷側に杭を打つことになりチューブ全体が谷側に傾きやすくなるから	有	倒壊を防ぐため。

16	単木	生長する中でチューブ内の側枝はどうなる	生長過程で側枝はネット内で充満するが幹がネットを越え生長すれば枯れ落ちる	有	実際の生長過程の写真があります。
17	単木	ネット内で捻転している植栽木があればネットを撤去したほうが良いのか？	捻転している植栽木でも下向きや一回転しているもの以外は成長過程でまっすぐに修正されるため撤去しないほうが良い	有	
18	単木	クリップは1個で大丈夫なのか？	クリップはチューブと支柱を固定する部品です。幼齢木ネット&チューブラーは本体に支柱を通す専用スリーブを作っていますのでネットずれはほぼなくなりました。クリップは不要になりましたが念のため上部に一個取り付けています。		
19	単木	資材費用がシカ柵より高いのではないのか？	単木資材はシカ柵と比べ費用が掛かるのは間違いです。しかし、2,000本/haの植栽本数の事業ならシカ柵と比べチューブラー1.7Mは5年間の下刈り費用を入れたり、撤去費用まで入れるとさらに安価になります。	有	チューブラーの5年間の下刈り回数は1~2回に設定しています
20	単木	硬質の筒タイプとチューブラーのような柔らかいカバータイプどちらがよいのか？	防獣性能、施工性、価格等一長一短あり甲乙つけがたい		
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					